

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉦業振興費

事業名 中小企業販路開拓等支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 地域産業課 地場産業振興係 電話番号：058-272-1111 (内3785)

E-mail：c11355@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,000 千円 (前年度予算額： 10,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
要求額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

ライフスタイルや価値観の変化、安価な輸入品の増加等で厳しい市場環境下にある地場産業にとって、担い手不足と国内市場の縮小により、産業としての規模が縮小する中、海外に活路を見出すことが重要。

こうした中、(公財)岐阜県産業経済振興センターの強みである専門コーディネータ等による支援や既存事業を活用し、包括的かつ伴走的に支援することによって、県内中小企業の海外展開を促進する。

(2) 事業内容

(公財)岐阜県産業経済振興センターが行う中小企業者等を対象とした販路開拓(企画・調査、商品改良、見本市出展)支援事業に対し助成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

対象経費の1/2を上限として補助する。

※ 中小企業地域資源等活用促進事業費補助金（全国中小企業振興機関協会）を活用（県1/2、全国中小企業振興機関協会1/2）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,000	○中小企業地域資源活用等促進事業 ・(公財)岐阜県産業経済振興センターが行う、地域資源活用促進事業への補助
合計	10,000	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県成長・雇用戦略2017」

[3]海外展開・販路拡大支援プロジェクト

(1) 中小企業の海外展開チャレンジ支援

(2) 国内におけるビジネスチャンスの提供

(2) 国・他県の状況

・他県においても県内地場産業等の組合や中小企業による販路開拓や担い手育成のための支援事業を実施している。

(3) 後年度の財政負担

・企画から商品の開発、販路開拓、そして改良し販路を開拓と、それぞれの企業に応じ継続した取組みを支援していくことが必要であり、毎年同額程度の経費負担を見込んでいく。

(4) 事業主体及びその妥当性

・事業者主体による担い手育成や販路開拓等の取組みを支援することで、持続的な取組みによる産地活性化、産業振興が期待できる。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	岐阜県中小企業販路開拓等支援事業補助金 (中小企業海外展開支援事業費助成金)
補助事業者(団体)	県内の中小企業者 (理由) 地場産業の中小企業等が単独で商品改良や販路開拓に取り組むには大きな負担を伴うため。
補助事業の概要	(目的) 地場産業の中小企業等が主体となって取り組む商品改良や販路開拓を支援する。 (内容) 担い手育成、商品改良、海外・国内見本市への出展経費等を補助。
補助率・補助単価等	定率 (内容) 対象経費の1/2 (理由) 補助事業者に一定割合の負担を求めるため。
補助効果 終期の設定	終期 令和8年度 (理由) 中小企業や組合等が担い手育成や販路拡大の取組みを自立して行うまで、一定期間の継続的な支援が必要なため。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>県内の中小企業者が、市場調査から商品改良、海外見本市等への出展(販路開拓)を繰り返すことで自立を図るとともに、意欲的な取組みを支援することで県内地場産業の継続的な発展を促す。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R3年度	R4年度	R5年度	終期目標	
	(R)	実績	目標	目標	(R)	達成率
①補助採択件数		3件	10件	10件	10件	30%

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	-	430	429

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 当該補助金の採択件数は6件だったが、実際に活用した件数は2件に留まった(新型コロナウイルス感染症の影響により、活用しやすい別補助金の利用が多かったため)。
	指標① 目標：10件 実績：6件 達成率：60 %
令和3年度	当初採択件数は3件であったが、実際に活用した件数は2件に留まった。(新型コロナウイルス感染拡大の影響により、出展予定の展示会が中止となったことによる事業取り下げ)
	指標① 目標：10件 実績：3件 達成率：30 %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	担い手不足と国内市場の縮小により、産業としての規模が縮小する中、海外に活路を見出すことが重要。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 2	海外への販路開拓を図る事業者への支援ができています。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	中小企業者が自らの意思で意欲的に取り組むよう、制度の改定を検討ながら効果的な支援を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後、中小企業等が担い手育成や販路拡大に向け自立的な取組みを絶え間なく展開していくため、当事業により引き続き支援していく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地場産業を支える中小企業等が成長していくためには、商品開発・改良、そして販路開拓(見本市出展・フェア開催)とその結果を分析したうえでの商品改良、といったサイクルを絶え間なく展開し、競争力をつけることが必要であり、引き続き支援が必要。
--